

新たなスタート

春が来ました。すでにホームページの日記でもお伝えしましたが、当塾生は推薦合格者も含め、全員第一志望校に合格することができました。必要な内申をそろえ、実力を身につけ、本番で見事に力を出し切った彼らの頑張りを心から称えたいと思います。

卒塾した子ども達にもいろいろな春が訪れました。大学受験での希望校への合格、不合格、希望した職種への就職決定、大学内での挫折・・・喜びの絶頂の中にいた子もいれば、失意のどん底にいた子もいます。みんながみんな希望通りの道を歩んでいるわけではありません。

この春小学部を卒塾した、小さな卒塾生の話をさせていただきます。この子は入塾当初から誰よりも真面目でした。しっかり宿題をやってきて、間違い直しもためません。テストで追試になっても粘り強く取り組み、苦手分野克服のためにもすごく頑張りました。当塾には中学部入塾に際して入塾テストがあります。小学部に通っていただいても入塾を希望される方は皆受けていただいています。この子も受験を希望してくれました。そして、テストまでの3ヶ月間、この子はお母さんと二人三脚で毎日勉強を頑張りました。読解ワークの復習、「割合」「速さ」「単分量」「図形」の復習、そして入塾条件である計算問題6問全問正解をはたすため、計算問題を毎日何題も緊張感を持って解きました。「今日は13問連続正解できた！」などと確認しながら。いざ入塾テスト。この子は他の子がほとんどできなかった面積の問題などを正解したものの、残念ながら計算を1問落としてしまいました。計算を落とした子には追試を受ける制度があります。追試で計算が全問正解すれば合格です。「追試を受けますか。」という私の問いかけに、長く長く考えた末、この子の出した結論は“受けない”というものでした。こぼれた涙がここまでの頑張りを表していました。自分で出した結論。卒塾です。

後日、お母さんからのお手紙にこんなお言葉がありました。「面談の帰りに私に『勉強のことあきらめたわけじゃないから』と話してくれました。ずいぶんたくましくなりました」と。頑張り抜いて、結果を受け止めて、深く考えて、自分の歩む道を自分で決めた。誰のせいにもせず、自分の可能性をあきらめず、未来への希望と覚悟を持ち続けている。あっぱれです。小学生でもここまでの高い志を持つことができるということを教わりました。このような教え子を持って本当に幸せです。卒塾後に塾に来て見せてくれた笑顔が今も私の心に焼き付いています。

西村セミナールームの卒塾生はどこまでも逞しく、挫折も糧にして伸びていきます。失意の中にいた子達もすでに立ち上がっています。私はとことん皆を信じ、ここから応援しています！